

単語を比喩の視点で分析する

外国手話研究部
中山慎一郎

1


調査目的

手話単語は、どのように形成されていったのか。それを語源ではなく、比喩の視点から探り、類型論的分析につなげていく。


2

調査方法

当研究所HPに収録されている外国手話単語および各HP、書籍に載っている手話単語を対照分析した。



<https://www.newsigs.jp/fsi>



3

ひ 喩 比喩(メタファー)

- ちよく 喩 めい 喩
直喩<明喩>(Simile・シミリ)
- いん 喩 あん 喩
隠喩<暗喩>(Metaphor・メタファー)
- かん 喩
換喩(Metonymy・メトニミー)
- てい 喩
提喩(Synecdoche・シネグドキ)

4


1

直喩

物事を「～のような」「～みたいな」などを使って直接的にわかりやすく例える方法。

e.g.

花子は太陽のようだ。
お城みたいな喫茶店。




5

隠喩

前記の「～のような」「～みたいな」などを使わずにあるものを別のもので例える方法。

e.g.

花子は太陽だ。
人生は長い旅だ。




6

換喩

ある事物の中の近接性あるいは隣接性のある一部を指して、全体を表現する方法。

e.g.

今日は鍋だ。
ペンは剣よりも強し。




7

提喩

ある事物の一部(下位概念)が全体を表現(上位概念)する。またはその逆の表現方法。

e.g.

お茶でも飲みませんか。
明日は、お花見だ。



8

2

「比喩」をまとめると

ある物事を、類似または関係する他の物事を借りて表現すること。たとえ。

9

/男/

10

	国名	手型	位置	運動
1	ラオス	↑	○	↕↕
2	タイ	↑	○	↕↕
3	ネパール	↘	○	*
4	中国	↑	○	↕↕
5	ベトナム	↘	○	**
6	ミャンマー	↘	○	*
7	インド	↘	○	↘
8	スリランカ	↘	○	↘

11

/女/

12

11

12

3

日本 /女/

ゆびきりげんまん
うきついたら
はりせんぼんのます
ゆびきった

暴れん坊将軍より

13

/トイレ/

14

13

14

/悲しい/

15


/犬/

16


15

16


/神/






**



日本



天にまします我らの父よ、願わくはみ名をあげさせたまえ...

フランス ウクライナ ドイツ

Dieu Bor

17

17

手話単語の形成

単語(辞書語彙)

描写(CL構文)

↑↑↑ 比喻

物事(画像)

← 言語の経済性の圧力 (フリージング)

← 文化的な圧力

18

18

用語解説(1)

・「CL」(Classifier)

1. 対象(物)を描写するときに用いる手型(しゅけい)。
2. CLは、CLそのもののみで語を形成することはできない。
3. 位置や運動と結合してはじめて意味をもつ。

19

19

用語解説(2)

・Depicting Signs(描写)

1. 写像、図像性の高い手話群のこと。
2. 市田(2005)はCL構文としている。
3. 聾者界では、その文のことを具体的表現あるいは図像的な表現と称している。
4. 多重形態素の連続体、つまり、CLが意味を持つ運動および位置と同時に表現されるひとまとまりの文のことであり、有契性の高い文。

2023/1/27

20

20

5

用語解説(3)

・フリージング

1. 描写(DS(Depicting Sign))【CL構文ともいう】の時点では、音素に意味が含意されている状態であったが、使用しているうちに言語の経済性という圧力により、意味の含意が失われていく過程。
2. 意味の含意が失われた状態の語彙を、フローズン語彙あるいは辞書語彙といっている。

21

21

参考文献

市田泰弘・大杉豊(1990)「日本手話のClassifier」『日本手話学会第16回大会予稿集』手話学会

市田泰弘(2005)「【連載】手話の言語学・図像性をめぐる2つの世界」『月刊言語』(34)2, p94-101,大修館書店

大原省三(1987)『手話の知恵』全日本ろうあ連盟

岡典栄・赤堀仁美(2011)「CL(Classifier)とは」『日本手話のしくみ』,p34-38,大修館書店

神田和幸(1994)「類辞研究の動向」『手話学講義』,p57-73,福村出版

木村晴美・市田泰弘(2014)「CL構文」『はじめての手話』,p26-28,生活書院

キャロル・ターキントン,アレン・E.サスマン著/中野善達監訳(2002)『類辞』『聾・聴覚障害百科事典』,p60,明石書店

瀬戸賢一(2019)『メタファー思考』講談社現代新書

網島弘治朗(2011)『日本語のメタファー』,くろしお出版

マーク・マーシャーク,トリスティア・エリザベス・スベンサー著/四日市章他監訳(2015)「形態素の発達」『デフ・スタディーズ ろう者の・言語・教育』,p397~,明石書店

22

22